

A stylized illustration of a hand holding a flower. The hand is rendered in a dark green outline, with fingers gently cupping a flower. The flower has a thick, dark green stem and several large, rounded petals. The background is a solid light green. Scattered throughout the background are various small, stylized floral elements, including four-petaled flowers and teardrop shapes, in both light green and dark green colors. The overall style is clean and modern.

平成29年度 協働のまちづくり事業 事例集

目次

事業名	団体名	ページ
【公共用地保全事業】 日の出花公園 公共用地保全事業	日の出自治会	1
えがおの「エコう～の」環境にやさしい街づくり	宇野地区連合自治会	2
たまの渋川ビーチサッカー大会	玉野市サッカー協会	3
シンポジウム「宇野港発 瀬戸内 港と女性サミット」	うの港13	4
たまの旬のさんま祭り	玉野さんま祭り推進会	5
【公共用地保全事業】 レイク玉原入口環境保全事業	新月	6
軽スポーツを通じて地域を繋げる活動	大崎小学校区コミュニティ協議会	7
「未来の玉野号」ラッピングバスの運行ならびに 絵画コンクール作品展	玉野商工会議所青年部	8
ご当地グルメを活用したシティセールス事業	たまの Sea 温玉会	9
十禅寺山(自然公園瀬戸内海国立公園指定区域)を 地域 資源と位置付けた地域で取り組む保全・継承活動	田井小おやじ応援団	10

団体名： 日の出自治会

《活動内容》

日の出ふれあい会館横の道路整備後にできた市有地を、たくさんのお花でいっぱいにして、地域住民が憩える場所にするとともに、周辺道路を通る人たちにも、季節の植物を感じて貰えるように、活動しています。

《事業を行ってのふりかえり》

平成23年から花公園の事業を始めて7年目になります。

日頃から手入れを欠かさず行い、花公園をきれいにしておくことによって、通行車両からのポイ捨てや、不法投棄を防止する効果もあるのではないかと考えています。



色とりどりの花

《市民のみなさんへのメッセージ》

今年もたくさんのお花が咲きました。元々は市の土地ではありますが、長年にわたり地域住民で管理をしていると愛着が湧いてきます。

皆さんもそれぞれお住まいの地域で玉野市を元気にする活動を行っていきましょう！

環境浄化液作成 エコウへの

団体名： 宇野地区連合自治会

《活動内容》 中央公民館が図書館内に移動したため手順が変わったりしましたが、作成ができました。公民館の使い勝手も変わり配布方法も特定の日を決めての配布となりました。継続事業のため利用者也定着しました。使うことで環境に優しいことに繋がると喜ばれています。

《事業を行ってのふりかえり》

三年目も無事に終わることができました。拠点の変更等でごくしゃくしましたが、利用者也増えたので作成することと活用することでそれぞれ参加する方や、コミュニケーションを図る機会が増えました。

毎回ペットボトル60本作成し配布。来年度からは2L1本有料化(100円)をする予定。



料理教室での作成もしました。1週間保温すればできあがり。ペットボトルに入れて配布します。

《市民のみなさんへのメッセージ》 活用方法も多く、利用者には喜ばれています。材料が三温糖 ヨーグルト ベーキングパウダー 納豆と食品を使うので安心です。

月1から2回の予定で作成しますので、関心のある方はお越しください。利用方法は、液をうすめたり原液を使って、清掃やにおい対策おしめやペット臭、排水溝の汚泥対策、洗濯や入浴剤として使用できます。肥料としても。

たまの渋川ビーチサッカー大会

団体名： 玉野市サッカー協会

《活動内容》

私たちは、ビーチサッカーを通して青少年の健全育成、生涯スポーツ社会の実現、エコフラッグ活動を推進し、渋川海岸をビーチサッカーの中心地とすると共に、玉野の街おこしに貢献したい。

《事業を行ってのふりかえり》

第12回たまの渋川ビーチサッカー6月大会（10日・11日）、9月大会（2日・3日）を運営しました。両大会共に2日間で3000名を超える多くの選手・観衆の皆様の来場を頂き渋川海岸は大いに賑わいました。浜にはスタッフシャツを着用した多くの役員が配置され、大会準備、片付け並びに試合中は選手・観衆の安全面のサポート等、運営全般問題なく終了した。



開会式に並んだスタッフと救護係（担架）

《市民のみなさんへのメッセージ》

私たちは12年間にわたって、ビーチサッカー大会を運営する中で、多くの市民の皆様のご理解とご支援を賜り、年々大会規模が拡大し玉野の街おこしに貢献して参りました。また、サッカー大会の運営のみならず、フォトコンテスト（玉野市観光協会協賛）、トレーナーサービス（玉野総合医療専門学校）等を提供し、スポーツと文化の融合、更には地域との連携等、常に新しい方向に向かった運営を心がけています。今後、スタッフシャツと担架を活用し、たまの渋川ビーチサッカー大会を発展させます。

シンポジウム「宇野港発 瀬戸内 港と女性サミット」

団体名：うの港 13（うのポートサーティーン）

《活動内容》

うの港 13 では宇野港や玉野市の活性化のため 10 年に渡り活動を続けて参りました。このたび新たな取り組みを生み出すため、観光資源のブランド化のスペシャリストを招いた基調講演と基調講演者に加え様々な視点をもつ女性パネリストを交えたパネルディスカッションを開催致しました。

《事業を行ってのふりかえり》

当日は多くの方がお越し下さり、玉野市民の皆様が宇野港や玉野市の活性化に関心を持っていることを感じました。講演やディスカッションでの有意義な提案を地域活性化と賑わい創出のために活かしていきたいと考えています。



満員の中で行われた基調講演（左）と
パネルディスカッション（右）

《市民のみなさんへのメッセージ》

当日は多くの方にご来場頂き誠にありがとうございました。今回の女性サミットが玉野市、宇野港の活性化について考えて頂くきっかけになりましたら、またそのための活動を始めて頂くきっかけとなりましたら幸甚です。

たまの旬のさんま祭り

団体名：玉野さんま祭り推進会

《活動内容》

私たちは、気仙沼直送の旬のさんまを炭火で焼いて味わってもらうイベントを通して、東北復興支援と宇野港周辺の賑わいの創出を図ると共に、地域住民や移住者と連携して地域を盛り上げています。

《事業を行ってのふりかえり》

市内外から多数の集客を図るため、マスメディアの活用やPRチラシの設置強化など2か月以上前から取り組みました。また、ボランティアの確保のため玉野高校などの高校生や地元住民、移住者の方など約40人に応援していただきました。

概ね、混乱もなく順調に流れていき、地域の一体感を感じることが出来ました。

参加された多くの方の笑顔や、元気なボランティアを見ていると、また来年も多くのお客様が参加され、地域住民が協力し合ってイベントが実施できると確信しました。



会場の様子（左）と高校生による炭火焼の実演（右）

《市民のみなさんへのメッセージ》

さんまを焼いて、食べることで東北復興支援ができるという、とても身近なボランティア体験です。1尾につき100円の支援金を気仙沼に送ることができるこのイベントを、これからも継続的に取り組んでいきますので、応援をお願いします。

レイク玉原入口環境保全事業

団体名： 新月

《活動内容》

私たちは、団地住民、県道を通る車、自転車、歩行者の皆さんが、レイク玉原入口を気持ちよく通る事を願って、草刈り、清掃を行っています。

《事業を行ってのふりかえり》

他地域の方から綺麗になりましたねと声を掛けてもらえると大変嬉しいです。道路からも団地からも人の目が届くように見通しが良くなったので、防犯上も活動して良かったと思っています。



清掃後の景観

《市民のみなさんへのメッセージ》

3年前のこの場所の姿を覚えていますか。バス停の裏は草や竹がボウボウ状態で気持ち悪い場所でした。市内全域にこういった活動が広がりますように、人が持っている優しさを失うことなく、助け合いの心が育まれることを願っています。

軽スポーツを通じて地域を繋げる活動

団体名： 大崎小学校区コミュニティ協議会

《活動内容》

幅広い年齢層が取り組める軽スポーツの場を提供することで、地域住民の交流を深めると共に健康の増進につなげていく。

《事業を行ってのふりかえり》

当初の計画であるスポーツを通じて幅広い年齢層が交流を深めるという目的は、ある程度達成できたと思う。各回とも20名前後の参加者があり楽しい時間を共有できた。ただ、中高生の参加者がすくなく今後の課題として残った。また、保育園児、学童の保護者の参加を引き続き働きかけていきたい。



軽スポーツ実施の様子

《市民のみなさんへのメッセージ》

大崎小学校区や、近くにお住いの方々、大崎小学校体育館でエアロビクス、軽スポーツ（地区のゴミステーションに掲示）をしています。気軽に参加をお願い致します。

「未来の玉野行」ラッピングバスの運行ならびに絵画コンクール作品展
団体名： 玉野商工会議所青年部

《活動内容》

玉野市の将来の定住人口増加の図る為、市内小学生を対象に自分たちが住んでいる玉野市の魅力を再発見してもらい、未来の玉野をテーマに絵画コンクールを実施。優秀作品を「未来の玉野号」としてシーバスへラッピングし、1年間、運行しています。またメルカ1F、市立図書館で応募作品の作品展を開催しました。

《事業を行ってのふりかえり》

子供たちの柔軟な発想で描かれた絵画作品の多くコンクールとなりました。バスにラッピングしているのは、優秀作品で応募作品のほんの一部です。作品展では多くの方に観覧頂き、大人、子供と玉野の未来を考える良い機会となったと思います。



上：絵画コンクール作品展

下：「未来の玉野号」ラッピングシーバス

《市民のみなさんへのメッセージ》

多くの児童の夢ある作品には感動と勇気、そして元気をいただくことができました。我々も玉野市に誇りを持ち、地域の発展、郷土作りの為に会員一同、精一杯、活動してまいります。

ご当地グルメを活用したシティーセールス事業

団体名： たまの Sea 温玉会

《活動内容》

私たちは、ご当地グルメ「たまの温玉めし」を中心に、玉野市の食文化を全国に向けて発信するための「まちづくり活動」を行っています。

《事業を行ってのふりかえり》

着ぐるみが完成し、それをアイキャッチとして、地域を PR する動画を制作し、公式ホームページや SNS により、全国に発信しました。

地域のキーパーソンと一緒に撮影でき、有意義なものとなりました。



新キャラクター（とろりーぬ&アナメシウス）のお披露目会
（ののちゃん、玉野高校ダンス部とコラボ）

【H30.3.4 道の駅みやま公園にて】

《市民のみなさんへのメッセージ》

新キャラクターの「とろりーぬ&アナメシウス（略 T.A.）」は、たまの温玉めしのマスコットキャラクターですが、「食文化」や「地域資源」、「地産地消」を PR する活動もやっていきます！皆さん、早く覚えてくださいね。

十禅寺山(自然公園 瀬戸内海国立公園指定区域)を
地域資源と位置付けた地域で取り組む保全・継承活動

団体名： 田井小おやじ応援団

《活動内容》

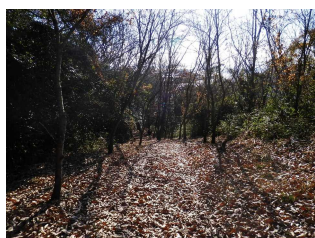
市民の間で忘れられつつある十禅寺山は、王子が岳と同じく瀬戸内海国立公園の指定区域で、玉野市の財産の一つと思っています。そんな十禅寺山の素晴らしさを子どもたちに残し引き継ぐため、保全活動に取り組んでいます。

《事業を行ってのふりかえり》

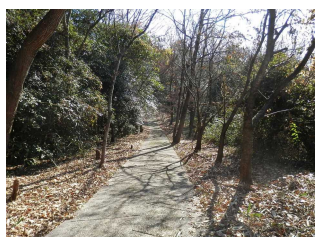
草刈りや枝打ち作業や樹木に関する知識は、玉野市公園緑化教会の協力を得て指導頂きました。

作業そのものは慣れないため苦労しましたが、作業中にハイキングを愉しみに来た人や、周辺に住んでいるかたからも声をかけて頂き、頑張れました。

なによりも、今回の実施は難しいと思っていた親子遠足も、田井小卒業生と3月に実施することができたことが一番の収穫であり、今後の励みです。



↓↓ 私たちの作業によって・・・ ↓↓



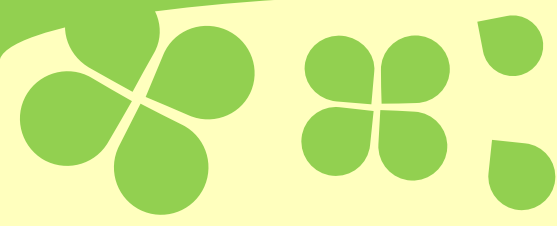
遊歩道や広場（金剛峰）が、
よみがえりました。

《市民のみなさんへのメッセージ》

十禅寺山は瀬戸内海国立公園内の指定区域です。

昔の眺望を取り戻すには、まだまだ時間がかかると思いますが、今でも心地よい海の景色が望める場所が、いくつかあります。

ぜひ一度十禅寺山に登って、心地よさを体験してみてください。



玉野市協働のまちづくり事業事例集

編集 玉野市総務部協働推進課
玉野市宇野1-27-1
TEL (0863) 32-5567

